

# 第4回『県大×おまちゼミ』

ヨーロッパ旅行・予習編

## 演劇でヨーロッパと 日本をつなぐ

SPAC (Shizuoka Performing Arts Center 静岡県舞台芸術センター) は、専用の劇場や稽古場を拠点として、俳優、舞台技術・制作スタッフが活動を行う日本で初めての公立文化事業集団で、静岡県が誇る文化財産のひとつです。今回は、演劇を通じた文化交流をテーマに、SPAC の永井健二さんに、ヨーロッパ公演やヨーロッパの演劇人との共同作業などについてお話を伺います。聞き手は、演劇と身体表現の専門家、京都大学大学院の中筋朋准教授です。

ゲスト講師

永井 健二 Kenji Nagai



写真 © 伊藤華織

SPAC (静岡県舞台芸術センター) 所属俳優。岡山県出身。中学から演劇を始める。大阪教育大学で中・高の家庭科教諭免許を取得するも教師の道には進まず、2000年よりSPAC所属。学校での演劇ワークショップ講師など、人材育成事業にも関わりが深い。海外公演や、他国との共同制作作品への出演経験も多い。SPACでの主な出演は、『夜叉ヶ池』『ふたりの女』『グリム童話～少女と悪魔と風車小屋～』『みつばち共和国』ほか多数。

中筋 朋 Tomo Nakasuji



京都大学大学院人間・環境学研究科准教授。京都大学文学部/文学研究科でフランス文学を、リヨン第二大学とパリ第三大学で演劇学を学ぶ。ディディエ・ガラスの演出助手として、日本人の俳優・ダンサー・音楽家とともに『ことばのはじまり』制作に参加。著書に『フランス演劇からみるボディワークの萌芽—「演技」から「表現」へ』、『日本の演劇理論—近代演劇概念の成立をめぐる—』(大浦康介編、『日本の文学理論』) など。

司会

森 直香 Naoka Mori 静岡県立大学国際関係学部教員

2021

10.30 sat 10:30-12:00

開催方法：ZOOM (オンライン開催)

ZOOMのリンクは参加希望者に別途お知らせいたします。

募集人員：無制限

参加費：無料

参加者は下記申し込みフォームよりお申し込みをお願いいたします。

【申し込みフォーム↓】



主催 県大 × おまちゼミ実行委員会 (代表 浅間哲平)

問い合わせ 静岡県立大学国際関係学部教員 浅間

asama@u-shizuoka-ken.ac.jp

県大 × おまちゼミとは？

静岡県立大学国際関係学部の教員が企画。街中のオープンスペースやレストラン等でヨーロッパとの縁が深いゲストを招いて公開講座を開きます。漫画や食文化など親しみやすい視点から、ヨーロッパ文化を感じてみませんか？講座の開催の詳細等はパンフレットのInstagramアカウントでお知らせします。



KENDAI\_OMACHISEMINAR

後援

静岡市 (一財) 静岡市国際交流協会

静岡日仏協会 静岡県立大学・広域ヨーロッパ研究センター